

ALPHA Healing Garden クラブ 活動報告(第117回)



実施日時:2022年4月27日(水)10:45~14:00

参加者:豊田先生、劔持先生、大中先生、蛭田先生+クラブ員(18)

ほか園芸療法課程修了生・学生 = 31名

場所:園芸療法ガーデン

内容:午前;各班の作業 ~展示ゾーンの花壇管理や創作・メンテ作業~
午後;ミニ講座【講師】豊田先生

”屋内緑化のニューノーマル - 室内で植物を育てる際の新しい考え方 - ”



音の花壇 2班

<2班>
前回からわずか1か月の間にすっかり緑が濃くなり、カリンの樹下には、ヒメツギの白い清楚な花が広がり、やや盛りを過ぎたのかフジの花が散り始めています。また、先月蒔いた麦は元気に育っています。
○4月の作業内容
皆さんの応援により、池周辺では、ウインターコスモスの枯れた枝の切り戻しと水池と一番変化に富み、展示エリアの中心部の花壇です。これからも応援したいと思います。(1班 I)



味覚と香りの花壇 3班

<3班>
お疲れさまでした。前日の雨が上がり、活動日和になりました。大勢の参加があり、豊田先生のお話を聞いて作業を始めました。
○今日の活動
・草引き...雨の後なので根っこをしっかり引きとることができ、花壇がすっきりしました。
・寒さ除け不織布を取り除く...レモン

バーベナ、レモングラス共にしっかり生きていました。(グラスは20cmほどにカットする)
・ラベンダーの古枝が倒れてしまい下のワイルドストロベリーに乗っかっているので、紐で括り付け立たせた。(5月に咲き終わっていたら切りとる予定)
○来月の予定
・ラベンダー、ローズマリーの枝を整え、ハーブの美しい時季を迎えられるようにします。(Mさん)

概略図 (対象エリア)



<4班> 創作・メンテ
お疲れさまでした。
○作業内容
今月から正面看板とレイズドベッド緑板の塗り直しをする予定でしたが、前日からの雨のために木部が乾いておらず、塗装作業ができませんでした。そのため、木部の汚れをたわしで落とすとともに、隙間から生えている雑草の除去などの作業をおこないました。
○5月の予定
木部の塗装作業をおこないました。(Sさん)

色の花壇 1班 触れる花壇

<1班>
○活動報告
・色の花壇では、そろそろ花が終わりになるピオラの抜き取り後、マグアンプを入れ込み、豊田先生に用意して頂いたポーチュカ、ペゴニア、トレニアを植え込みました。
・触れる花壇では、提供頂いたラグラスの苗を植え込みました。除草、切り戻し、花がらつみも適宜行いました。
○来月の作業は、花苗の捕植としてカリブラコアなどの黄色があるとアクセントとして良いのではないかと意見を頂きました。ユリオプスデージーに虫がつきはじめていたので、虫対策用の薬剤も必要かと思えます。秋には学校で学会があるようですので、夏前に少し植え込んで置く素敵な景色を作ることも可能なかなと思います。(Oさん)



前日からの雨が夜半に強くなり、天候の崩れが気になった例会ですが、幸い曇り空の下で、マスク着用でも、蒸れすぎずに過ごせそうです。園芸療法ガーデンは冬の佇まいから緑の濃淡に包まれた新緑の時期を迎え、ペゴニナキワマンサクの鮮やかな赤とヒメツギの白が際立つガーデンに変身しています。新年度の初めての例会、ミーティングで新任の劔持先生と蛭田先生から挨拶があり、各花壇に移動後、実地に観察しながら、作業のポイント確認が豊田先生からありました。新任の先生方や園芸療法課程生と一緒に作業を始め、通路の落ち葉なども掃き集め、予定の時刻に終了しました。

午後は、コロナの感染予防のため、2年以上できなかった座学によるミニ講座を豊田先生に講師をお願いし、風が通るガーデン内のワークショップで開催しました。コロナ禍の屋内緑化の高まりをテーマにした内容で、イラスト入りの冊子を使い、植物により最低生育照度係数が異なり、置き場所の工夫やLEDによる補光などによる屋内での効果的な栽培法を学び、アプリをスマホに入れ照度計として活用する手法も会得できました。ありがとうございました。コロナの先行きはなお不透明ですが、楽しい活動が続けられればと考えています。参加の皆さん、お疲れさまでした。世話人:植田(5/1)小西



今後の予定

原則 **毎月 第4水曜日**

ただし、*:<2022>12月は、第3水曜日

**:<2022>11月は、第2or3水曜日で調整中

<2022> 5/25 6/22 7/27 8/24

9/28 10/26 11/9or16 12/14***

<2023> 1/25 2/22 3/22

(変更の場合は、AGNメーリングリストメールでお知らせします。)

現在、クラブ員の募集は停止しています。